



令和元(2019)年度 災害発生時のマネジメント ～対策本部の運営～

地震や台風、水害等の災害が発生した際、被害をできる限り最小限に抑えるには、初動対応期(地震の場合発生後72時間)の災害対策本部における対応が重要となります。

今回の研修は、災害発生時に対策本部に参集する職員がトップの的確な判断をサポートできるよう、いかに事態を正しく把握するかについて学び、また自ら最善策を検討し、課題に対処するための能力を養うことを目的に実施します。特に事例紹介では、各自治体における大規模災害の教訓や迅速に対応を行うための対策、避難者を守るために必要な視点など、災害発生時に起こりうる事態や、留意すべきポイントについてお話しいたします。

研修の ポイント

- ① 災害対策本部の図上訓練により、いかに災害対策本部を円滑に運営するか学ぶ。
- ② 情報収集や情報発信について学ぶ。
- ③ 気象庁の情報から避難勧告・指示の発令について考える。
- ④ 実際の市町村の対応から課題と成果を学ぶ。

開催要領

日程

令和2(2020)年3月2日(月)～3月4日(水)(3日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

災害発生時に対策本部に参集する市町村等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

50人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

10,500円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和2年1月14日(火)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。
[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書は、JIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906
[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和2年

3月

2日(月)

11:00～

入寮受付・昼食

12:30～

開講・オリエンテーション

13:00～14:10

講義 防災行政について

総務省消防庁国民保護・防災部防災課

近年発生した災害への対応状況や災害法制等に関する国の最新状況、災害対応に係る地方自治体の役割など、災害発生時の防災行政の全体像についてお話しいただきます。

14:25～15:35

講義 気象情報の活用について

気象庁予報部予報課気象防災推進室防災気象官 **高橋 賢一 氏**

気象庁の発表する防災気象情報について、実際の事例を用いて、情報の種類や発表のタイミング、対策本部等における活用イメージについてお話しいただきます。「大雨警報・洪水警報の危険度分布」など、特に活用すべき情報について、詳細にご紹介いただきます。

15:50～17:00

意見交換会

講義・事例紹介を踏まえてそれぞれの自治体の災害時の対応についてグループごとに意見交換をします。

17:30～

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25～10:35

事例紹介 豪雨災害における対応と教訓(仮)

岡山県総社市危機管理室

平成30年7月豪雨時、総社市災害対策本部ではどのような運営がされていたのか、また避難所の開設をはじめとする避難の実態など、緊迫感あふれる当時の状況をお話しいただくとともに、それらの経験から得た教訓等についてもお話しいただきます。

10:50～12:00

事例紹介 災害時の民間事業者との連携(仮)

和歌山県危機管理局災害対策課

災害の発生に伴い起こりうる大規模停電や通信障害の早期復旧を目指し、民間事業者と協定を締結されるまでの経緯やその取組内容等についてご紹介いただきます。

13:00～14:10

事例紹介 災害発生前に自治体職員がやるべきこと、災害時にやるべきこと

熊本県熊本市政務局危機管理防災総室 主幹 **大塚 和典 氏**

熊本地震時の対策本部の運営をふりかえり、当時の状況やその教訓を基に、情報収集・伝達などを中心に、災害発生前に自治体職員がやるべきこと、災害時にやるべきことについてお話しいただきます。

14:25～17:00

演習 災害対策本部の運営～図上シミュレーション訓練に向けて～

一般財団法人消防防災科学センター研究開発部長兼統括研究員 **黒田 洋司 氏**

災害発生後の災害対策本部の実際についてお話しいただきます。その後、翌日の「図上シミュレーション訓練」に向けて概要を説明していただきます。

9:25～12:00

演習 災害対策本部の運営～図上シミュレーション訓練～

一般財団法人消防防災科学センター研究開発部長兼統括研究員 **黒田 洋司 氏**

図上シミュレーション訓練により、災害発生直後の災害対策本部の状況を疑似体験し、災害時の対応能力向上を目指します。

13:00～14:10

講義 まとめ

一般財団法人消防防災科学センター研究開発部長兼統括研究員 **黒田 洋司 氏**

研修をふりかえり、災害時のマネジメントについて、対策本部の運営を中心に、3日間のまとめをしていただきます。

14:10～14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和2年

3月

4日(水)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。